



■ 新型コロナウイルス感染症に便乗した詐欺や悪質商法に注意!

詐欺

新型コロナウイルス調査や、助成金の受け取りを名目にして、住所や名前、年齢、暗証番号などの個人情報を聞き出す



悪質商法

- ▶ 高額でマスクや消毒液を売りつける訪問販売
- ▶ 感染症に効くとうたった未承認医薬品の販売



感染症などの病気に関して、身に覚えのない請求や、個人情報の調査など、不審な電話やメールがあった場合には、一人で判断せず、警察や行政機関に相談しましょう!



■ 災害に備えて事前に準備!

これからの時季は、梅雨の長雨や大雨で、風水害や土砂災害の危険度が高まります。災害の被害を最小限に食い止めるため、日ごろから気象情報、危険個所の確認や非常用持出品の準備など、事前の備えをしっかりとしましょう。

事前に確認
しましょう



☑ 避難所の位置や経路

安全に避難するため事前に確認しておく

☑ 安否確認の方法

被災時に家族が離れている場合を想定し、安全確認の方法を話し合っておく

☑ 近隣の危険個所

洪水や崖崩れが予測される危険個所を普段から把握しておく

☑ 非常時用の荷物

貴重品、衣類、非常食、携帯用ラジオ、懐中電灯、電池など、必要最小限の荷物をいつでも持ち出せるよう準備しておく

☑ 自宅の危険個所

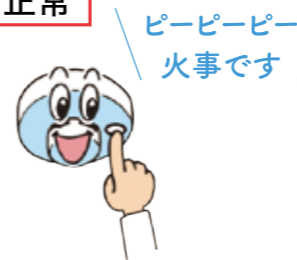
窓や屋根、雨どい、自宅周りの側溝などを再度点検し、修理や清掃などをする

■ 住宅用火災警報器の点検、手入れをしましょう

平成18年6月1日から一般住宅への設置が義務化され、10年以上が経過しました。いつでも正常に作動するよう日ごろから定期的に点検、手入れをしてください。

〈点検方法〉点検用ボタンを押すか、ひもを引くことで動作確認ができます。

正常



ピーピーピー
火事です

異常



しん… しん…

故障の
可能性
あり

電池がきちんとセットされている場合は、「電池切れ」が「機器本体の故障」ですので、取扱説明書を確認し、電池や機器本体を交換してください。

住宅用火災警報器の設置状況を調査しています

市内の世帯から無作為に調査世帯を決定し、身分証明証を携帯した消防職員等が訪問調査、または電話での聞き取り調査を実施します。ご理解、ご協力をお願いします。
※調査へ協力いただけない場合でも不利益になることは一切ありません。



毎月一回
定期開催

応急手当講習 心肺蘇生法、AED使用方法など

開催日時 | 5月17日(日) 午前:2時間(短縮コース ウェブ講習受講済の方が対象です)
午後:3時間(普通コース)

※なお、受講時間は変更できる場合がありますので、ご相談ください。

お問い合わせ | 警防課 救急係 ☎42-3952



異文化と暮らす 私たちにできること

× お互い様 ×



(文)
人権多文化共生推進課
多文化共生推進員
明木 一悦

人権多文化共生推進課
☎お太助フォン 42-5630
☎47-1206

今年に入ってから新型コロナウイルス感染症が猛威をふるい世界的危機に陥っています。入国は制限され、人の動きも非常に厳しい状況です。そんな中で地域に住む外国人に対しての目が気になります。現在市内に住んでいるほとんどの方は、新型コロナウイルス感染症が拡大する前から市内に住んでおり海外での接触がありませんでした。この感染症におけるリスクは市民として日本人も外国人も同様です。

3月31日現在、市内には24か国813人の外国籍の方が住んでおり、在留資格別では短中期滞在(技能実習、定住者等)が約7割、長期滞在(永住者、日本人の配偶者等)が約3割となつ

ています。社会生活の中では、国籍や在留資格によって関わる人が異なり、その中でのつながりによる支援が多いです。しかしながら近所や地域コミュニティによる日常の支援も大切です。また、これからのインクルーシブ社会(社会を構成する全ての人が切り捨てられない社会)は、外国人と日本人による相互支援で地域を守っていくことが必要だと思えます。

国籍を問わず市民全員が新型コロナウイルス感染症の終息を願っています。こういう時だからこそ、互いに助け合っている危機を乗り越えていきたいと思